

諸家系譜

米倉 信田

太政官文庫	
三三六四九	和書門
二二五	架函號類

共二百廿五向

内閣文庫	
三三六四九	和書
二二五	架函
三三六四九	架函
二二七	架函

共八十五

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (131)
函號	156 23



諸家系譜

太政官文庫		和書門
三三六	四九	
二三九	冊架函	號類

位
米倉
宿田

共二百廿五白

内閣文庫		和書
三三三	四九	
三三五	冊架函	號類

共八十五

内閣文庫	
番號和	32655
冊數	(131)
函號	156 23

未之月多也

系譜

一
係

源和漢
七首
○

一
系
系譜

一
系

源姓

源氏

源氏

源氏

源氏

角切角の内在兼

同

同

同

十一

弟名長門守昌子

昌仲

源氏

如

源氏

素

源氏

元源元年...

昌仲

昌仲

昌仲

昌仲

昌仲

昌仲

昌仲

昌仲

昌仲

昌仲

昌仲

昌仲

元禄十一年... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

西... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

同... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

享... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

同... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

同... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

順... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

同... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

享... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

同... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

同... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

女

松中印子

保神子

女

中子

昌

子

昌

昌

昌

昌

昌

昌

昌

昌

昌

女

昌

昌

女

昌

昌

昌

昌

昌

昌

昌

昌

日本千石子守屋宗茂同族の系図
 四月廿二日 宗茂 宗茂 宗茂
 宗茂 宗茂 宗茂
 宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂
 宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂

宗茂

宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂

宗茂

宗茂 宗茂

宗茂

宗茂 宗茂

宗茂

宗茂 宗茂

宗茂

宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂

宗茂

宗茂 宗茂 宗茂

宗茂

宗茂 宗茂

宗茂 宗茂

宗茂

源
氏
家

系譜

未
上
月
八
日
坂
田
五
郎
公

後
北
條
氏
七
百
五
拾
三
番
〇
坂
田
五
郎
公

善
在
坂
田
五
郎
公
系
譜
末
上
月
八
日

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

Handwritten text in a rectangular box at the top right of the right page.

Handwritten text in a rectangular box on the middle left of the right page.

Handwritten text in a rectangular box on the middle right of the right page.

甲斐源氏

弟倉吉

信和姓新羅之命敏光河邊倉吉之弟
信繼後稱甲別任人美倉母後与字繼吉

幕之敏

九二在案

家之敏

九二在案

智敏

九二在案

弟倉吉母信繼河邊

弟倉吉母信繼河邊

弟倉吉母信繼河邊

定綱

母

石部

毒 石部

弘治元年平朝石部

後信玄勝頼連仕甲別法法法法法

神威威德在名乃野荒是更命平助野原

古人也信長也 古也信長也信長也

上高信品相山山素子水信連信長也
同年信長(信長)也

神威威德在名乃野荒是更命平助野原

上高信品相山山素子水信連信長也

我門者乃信長也乃信長也乃信長也

神威威德在名乃野荒是更命平助野原

神威威德在名乃野荒是更命平助野原
即自自信長也乃信長也乃信長也
也乃信長也乃信長也乃信長也

侍中次經殿... 武門... 天... 御到... 右...

中領改... 武門... 天... 御到... 右...

天... 御到... 右...

武門... 天... 御到... 右...

三行便

上三行尾列... 上同... 一ノ...

天... 一ノ... 一ノ... 一ノ... 一ノ...

年正月

神表... 一ノ... 一ノ... 一ノ...

先年火災... 天... 一ノ...

天... 一ノ... 一ノ... 一ノ...

天... 一ノ... 一ノ... 一ノ... 一ノ...

天... 一ノ... 一ノ... 一ノ... 一ノ...

其之長久皇子年為別山津德仁孫
古右乃世由祖言是也其之德仁
同年九月國之由山津德仁之孫保
水德之德仁言

台德公上以乃所信別之而故以信奉信
其之長久皇子年依

神名上以乃言一上乃所信奉信
其之長久皇子年冬國之由山津德仁
而山津德仁言

神表

乃德界以信言後
其之長久皇子年

台德公上以乃言乃德界以信言後
其之長久皇子年九月十日乃德界以信言
乃德界以信言

信德

其之長久皇子年

母 素

乃知
甲別信言
乃知信言
乃知信言

又據元中平一何國言其心亦
 其後元中平一何國言其心亦
 以信仁其好又同
 臨河人謂之疑其好
 名知八五成平治臨河人謂之疑
 以力而然其好中平一何國言其心亦
 臨河人謂之疑其好
 其好元中平一何國言其心亦
 以力而然其好中平一何國言其心亦
 臨河人謂之疑其好
 其好元中平一何國言其心亦
 以力而然其好中平一何國言其心亦
 臨河人謂之疑其好

明皇幸已年有在石名書其後
 其好元中平一何國言其心亦
 以力而然其好中平一何國言其心亦
 臨河人謂之疑其好
 其好元中平一何國言其心亦
 以力而然其好中平一何國言其心亦
 臨河人謂之疑其好
 其好元中平一何國言其心亦
 以力而然其好中平一何國言其心亦
 臨河人謂之疑其好

中平

其好元中平一何國言其心亦
 以力而然其好中平一何國言其心亦
 臨河人謂之疑其好

如子

如

音

如子 如子 如子

如子

如

音

如子 如子 如子

改姓

養母

山崎 如子

養父

山崎 如子

養母

山崎 如子

養

山崎 如子

先祖父 如子

右 祖父 如子

弟 祖父 如子

庶子 祖父 如子

孫 祖父 如子

曾孫 祖父 如子

玄孫 祖父 如子

西 祖父 如子

其系

如

如

如子 如子 如子

先代傳明孝子之狀

女子

新加坡門信位而地
上卷之傳之忠孝

母

花岡

女子

母

花岡

新加坡門信位而地
上卷之傳之忠孝

其繼

養母

養母又丁節

新加坡門信位而地
上卷之傳之忠孝

養父

大坂門信位而地

新加坡門信位而地

養母

新加坡門信位而地

新加坡門信位而地

養母

新加坡門信位而地

新加坡門信位而地

養父又丁節

右入丁節有養父方中丁節有養父方中

新加坡門信位而地

新加坡門信位而地

新加坡門信位而地

新加坡門信位而地

元禄六年癸未年二月五日卯刻
久松正運 幸舟幸舟
信右 保信院 常田輝

改良

長谷川氏

如

大川氏 松平氏 信玄親女

長元八年甲子 留子 幸舟幸舟

改直

長谷川氏

如

幸舟

如子

早也

如

幸舟

改良

長谷川氏

養母

松平氏 信玄親女

養父

長谷川氏 信玄親

養母

松平氏 信玄親女

延享元年甲午 卯刻

右 松平氏 幸舟幸舟 信玄親女

左 松平氏 幸舟幸舟 信玄親女

幸舟幸舟 幸舟幸舟 信玄親女

久員因循之組ノ良
向求之ニ年ノ去リ志ヲ而復月ノ代
部中之組也也若入
同大也也年ノ三ノ月ノ之日也也若也
京陽元年正月之日也也若也
江戶也也若也
同二也也年ノ正月之日也也若也
人之也也若也
法名也也若也

心字

庚辰一字 己卯年

養母

家母

養父

山等自右方之友

養母

家母

自京中丁卯年 己卯年

有章公所代 養父 養母 養父 養母 養父 養母

十人

西歷大正十一年一月十日 養父 養母

京中保之也 庚辰年 二月十日 養父 養母

此名也 庚辰年 二月十日 養父 養母

酒井少平次子元之丞

享保十二酉年三月廿九日新加

平右七之御前此等入仕年位御前

元文元年三月廿九日新加

中平右七御前此等入仕年位御前

享保七丁酉年三月廿九日新加

享保七丁酉年三月廿九日新加

心友

長春候儀

如 象

書

一稿本所内御前

内及及及及及及及及

享保十二酉年三月廿九日新加

享保七丁酉年三月廿九日新加

小室右七御前此等入仕年位御前

享保七丁酉年三月廿九日新加

如右御前此等入仕年位御前

享保七丁酉年三月廿九日新加

酒井少平次御前此等入仕年位御前

享保七丁酉年三月廿九日新加

那中書院入太原府中書院院學士
永升監西文院
天海八中書院學士
門下中書院學士

正末

兼倉右衛門

母 家母

正末

兼倉右衛門

母

弟同

妙子

弟同

兄藏白五回子午一吸養子口信

妙子

母

弟同

一信中書院院學士

日方忠白門師書業

母

弟同

正末

兼倉右衛門

一信大書院院學士

養母

日方及白門師書業

養父

新中書院院學士

弟余也一子正末

養母

家母

養

今中書院院學士

正末元年及年九月廿七日

紅梅中...

天保八年申年正月廿七日...

田子年...

田年三月廿七日...

松平...

...

...

...

...

...

女子 母 女子 母

...

三三
音
後
年
國
中
書
院

清願齋主人
山崎久海書

宣統二年

庚辰年
正月

書
名
目
録

後
編
書
目
録

系
譜

係
譜
書
目
録

小
書
目
録
年
表
目
録

深

兼

先祖系金岳帝信德甲四代中野五國
以代那石橋村住居在名中野五國
藩致 神代甲上丸の内記書
家致 此の内記書 聖叙及包

宗綱

甲四代以中野信言所記中野信行死

景深

九系 九系

十系

信言... 景深... 宗綱... 甲四代... 中野信言... 所記中野信行死

先祖系金岳帝信德甲四代中野五國
以代那石橋村住居在名中野五國
藩致 神代甲上丸の内記書
家致 此の内記書 聖叙及包

甲四代以中野信言所記中野信行死
宗綱
景深

其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに

甲申年閏八月廿七日
乙未年八月廿七日
丙午年八月廿七日
丁巳年八月廿七日
戊辰年八月廿七日
己卯年八月廿七日
庚寅年八月廿七日
辛丑年八月廿七日
壬子年八月廿七日
癸亥年八月廿七日

其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに

則編
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに

正編
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに
其の由りしは、此の如く行はれしに

正史

左京 日記

母 家女

元禄十三年年八月多知生年
吉保也家年十月何父経目立し由
多知生年
門外分年一子りり合言也生年
以常入
也言也生年一子りり合言也生年
為代人一子りり合言也生年
乃取立生年一子りり合言也生年
乃取立生年一子りり合言也生年

心明

母

家女

家女

家女

孝奉院

孝保一人其年一子りり合言也生年
然言也生年一子りり合言也生年
也言也生年一子りり合言也生年
乃取立生年一子りり合言也生年
乃取立生年一子りり合言也生年
乃取立生年一子りり合言也生年
乃取立生年一子りり合言也生年
乃取立生年一子りり合言也生年
乃取立生年一子りり合言也生年
乃取立生年一子りり合言也生年

右殿

乃取立生年一子りり合言也生年

寛政十三年十一月十日

家次郎

門雅

母 家女

安永六年十一月十日

正則

九三郎

母 家女

某

九三郎

母

某

富三郎

母

石

三

中國

...

...

...

よ
長久保 保

長信

甲午四月廿七日
如部定事乃為

長信
子
□

如部定
長久保

甲斐 豊 承 金 高 氏

所和此新在之第義光三代射後
指之相續逸日合出之清光七男
系別十部美行之代治部信継

指物之紋
幕之紋
家之紋
帯之紋

三幅美
九二家美
口印
九二福徳

信継後孫
重継

從之在下 丹後守

由 石紙 生甲別

大雁より文書曰信長と暗信に仁
暗信は新法に法性院の僧信長

天文十一年十月十日信長書
全致敵者上夜夜其利方意十三歳
治と初陣敵と武勇多し計と
計と名丹後下之津九と進好其利也
仰る人九信長感方々

天文二十一年三月十日信長外

信長書曰平如徳田如以内如御方
如印と智方流一と一内其利流と初
信と其利と方如家記と意丹後
御也

天文十一年三月十日信長書
謙信長尾四景人送ると其利と家
入送と四景流と如流と利人
同年の日如十日十日信長書
如列如東城の如十日十日信長書
如長尾所と信長と相傳と長尾

出
為
夜
此
後
感
及
永

全
信
信

子と山嶽と云ふは、うもくや、中江、
 又信言、一書、
 今、
 必死、
 事、
 天、

公、
 肉、
 友、
 一、
 入、
 口、
 子、
 皆、

方今之亂也... 忠誠之志

守身如璧... 身死而名存

暗緘

弟處... 弟處

母心解

父下... 承錄...

忠緘

母心解

後品... 忠誠之志... 父下...

天正十三年年 賜物之書以復海人
以之品品限人 物由改改之信長
とすし海

信長公御陰書に成帳言ふに古河列州
折井市長つと長倉と事知合意
以事つ日信長と書之御

信長公の 御達之の政を古河列州に
弟付策の仕方は 信長公に
申物に書由 族御子等之後
公の御書に之御目云

天正十三年三月五日別為願地
七百石御願

同年申上り者同に御加恩之地事
申上り之は古河と事至國系
御入國御信に

天正十三年九月九

信長

如 古河 後 丹波守

信長公御書に古河 古河列州古河
是古河御一國是古河古河古河古河

外書文之紀年

天而一七三年南河者同日恩

清順治元年

即入金沙法仁以金身而在

之海目多也其後

上意宜文名丹後

大後所陳河法仁河陳法

者名不也久後

實承上之

當所承家丹後

世系

如名

見之身即一國走也

甲卯

陸源

即

天而一七三年

此以

實承上之

當所承家

美余余

美余余

利継

母名継

英倉屋三三

利洞玄

父名洞玄 母名洞玄

元正身御内走也洞玄上三郎列下
天正十七年八月九日所息也
八子名洞玄之之後後世遠祖也
有之遠祖後世遠祖之近祖洞玄
之類十田系之孫也洞玄之孫也

女子

母名継

不詳

定継

母名継

英倉屋三三

素

甲子年八月廿五日

定継母名継

弘治元年八月廿五日

父母後与一同信玄勝頼之臣散友也

名者

天正十三年八月廿五日

甲子年八月廿五日

出法友之信長也

権現公御孫也

光緒二十一年七月廿五日奉旨
欽此

上諭各部知道欽此
同日奉旨

禮部知道欽此

禮部知道欽此
同日奉旨
欽此

同日奉旨
欽此

同日奉旨
欽此

同日奉旨
欽此

同日奉旨
欽此

同日奉旨
欽此

敬其別名是也
後名各在後後
此物信也
七月廿日 家康
是名之印也
相并市也

控規云
新取口 河名座之御
是也同 河目見之北條
河對

此物信也
是名之印也
相并市也
是名之印也
相并市也

中取改治山系

西條中又の御書
美事大乃書之
進之御書

大正十一年
三月七日

英宗在之

日事三月二十六日御書
御書中並書之御書
御書中並書之御書
御書中並書之御書

御書中並書之御書
御書中並書之御書
御書中並書之御書
御書中並書之御書
御書中並書之御書
御書中並書之御書
御書中並書之御書
御書中並書之御書
御書中並書之御書
御書中並書之御書

上野宮爲河三右衛門左衛門
天正七年申月一日御寄書
上野宮爲河三右衛門左衛門
御寄書

上野宮爲河三右衛門左衛門
御寄書
御寄書
御寄書
御寄書
御寄書

上野宮爲河三右衛門左衛門
御寄書

上野宮爲河三右衛門左衛門
御寄書
御寄書
御寄書
御寄書

上野宮爲河三右衛門左衛門
御寄書
御寄書
御寄書
御寄書

上野宮爲河三右衛門左衛門
御寄書
御寄書
御寄書
御寄書

与子孫

檢取公 所依公之後 所依界之故

五祖之言

台証公 台証河大綱之故 所依公之通

甲辰 所依公之故

同八 壬戌年九月十日 壬戌年八月

壽西 甲辰年九月十日 甲辰

信條

母

甲辰年九月十日 甲辰年九月十日

妻

甲辰年九月十日 甲辰年九月十日

文証公 甲辰年九月十日 甲辰年九月十日

父証公 甲辰年九月十日 甲辰年九月十日

父証公 甲辰年九月十日 甲辰年九月十日

檢取公 甲辰年九月十日 甲辰年九月十日

大証公 甲辰年九月十日 甲辰年九月十日

左証公 甲辰年九月十日 甲辰年九月十日

父証公 甲辰年九月十日 甲辰年九月十日

檢取公 甲辰年九月十日 甲辰年九月十日

父証公 甲辰年九月十日 甲辰年九月十日

人献公の没年ハ在在不明也

同十七度在在不明ハ在在不明也

明正二年ハ在在不明ハ在在不明也

明正三年ハ在在不明ハ在在不明也

明正四年ハ在在不明ハ在在不明也

明正五年ハ在在不明ハ在在不明也

慶有公ハ在在不明ハ在在不明也

明正二年ハ在在不明ハ在在不明也

明正三年ハ在在不明ハ在在不明也

妙子

女

今師氏に嫁

某

早世

赤倉に嫁

某

早世

赤倉に嫁

女子

女

使治に嫁

重継

女

又

赤倉に嫁

赤倉に嫁

叢書

即代父錄式年表

大西資因及長後寺親王入

年月名紙百後口加領大坂院令

三 後口是之地方三津原

四 後口是之地方三津原

五 後口是之地方三津原

延元九年五月二十七日

大西資因及長後寺親王

政鑑

兼大藏大臣

如左

如左

書

台田及

如左

人錄公

大西資因及長後寺親王

即目左

口年九月五日

口年三月五日

兼大藏大臣

大西資因及長後寺親王

帝憲公 即代中人

元禄六年春三月廿九日

御子

御子

御子

御子

御子

御子

御子

御子

御子

昌継

御子

御子

御子

御子

素

御子

御子

御子

御子

御子

御子

御子

御子

御子

御子

某

早

海内口寺号位名院以智日境

如 旨

并命又八命

某

早

并命五命

某

早

如 旨 海内口寺号位名院以智日境

皇曆八乙亥年七月二十日命

如 子

早

如 旨

政 長

如

并命者多信

并命者多信

某

海内口寺号位名院以智日境

皇曆八乙亥年七月二十日命

皇保十七乙亥年七月二十日命

仙石中法寺主入

日一丙午年三月二十日命

仙石中法寺主入

皇保二乙亥年七月二十日命

大和寺主入

皇保二乙亥年七月二十日命

仙石中法寺主入

皇保二乙亥年七月二十日命

宝曆元年... 丁未年九月...

... 院...

東 早世

... 命

如方

政堂

以

...

如方

...

...

...

...

...

... 元年...

... 元年...

... 元年...

... 元年...

... 元年...

... 元年...

... 元年...

... 元年...

... 元年...

... 元年...

政易

乃易

平定縣知事

如

同文元九年

毒

形多

以能元九年

天以元九年

周以元九年

宜以元九年

以元九年

翻自元九年

御光年

以元九年

以元九年

以元九年

以元九年

以元九年

以元九年

以元九年

以元九年

伊予縣用... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...

伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...
 伊予縣... 伊予縣... 伊予縣...

某

弟倉田彦助

お

某

弟倉田彦助

お

某

弟倉田彦助

お

弟倉田彦助

女子

女界

女子教育の発展

女子教育の発展

中国の女子教育

女子教育の発展

女子教育の発展

女子教育の発展

女子教育の発展

女子教育の発展

女子教育の発展

女子教育の発展

女子教育の発展

女子教育の発展

女子教育の発展

清和源氏

後田氏

立身多賢信列位口御之云後田下相名所云

幕後 九内子之御孫

家後 九内子之御孫

立身王經基在五男若馬村御後也後田立身多賢人
上代後田氏之系也後田立身多賢人
改信之稱

昌次

後田門

母 素子御孫

立身王經基在五男若馬村御後也後田立身多賢人
上代後田氏之系也後田立身多賢人
改信之稱

女 妙之

改貞

出良子

母 素子御孫 值本多子御孫

素子御孫

自守中五及年中御初之兒
立身王經基在五男若馬村御後也後田立身多賢人

自及

十三年 立身多賢人

母 板本中女 板本又之御之御孫

立身王經基在五男若馬村御後也後田立身多賢人
立身王經基在五男若馬村御後也後田立身多賢人

貞剛 在任次 國一巻 十巻
元禄上多平丹竹院自出地以加可後
西德出多平丹竹院自出地以加可後
貞剛 在任次 國一巻 十巻
元禄上多平丹竹院自出地以加可後
西德出多平丹竹院自出地以加可後

貞剛 在任次 國一巻 十巻
元禄上多平丹竹院自出地以加可後
西德出多平丹竹院自出地以加可後

某 改正
改正
改正

辰改 又正
辰改 又正

實交 貞剛
實交 貞剛

書 貞剛
書 貞剛

貞剛 在任次 國一巻 十巻

貞剛 在任次 國一巻 十巻

貞剛 在任次 國一巻 十巻

貞剛 在任次 國一巻 十巻

貞剛 在任次 國一巻 十巻

貞剛 在任次 國一巻 十巻

貞剛 在任次 國一巻 十巻

貞剛 在任次 國一巻 十巻

水野
水野

改恒 貞剛
改恒 貞剛

賜入奉
宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

宣曆九年

月年古り... 徳政奉り
安永五年... 御所... 徳政奉り
安永七年... 御所... 徳政奉り
安永九年... 御所... 徳政奉り
安永十一年... 御所... 徳政奉り

女 青

女 白

女 白

女 白

安永九年... 九月... 御所... 徳政奉り

其

女 白

其

女 白

其

女 白

女

安永九年... 御所... 徳政奉り

改長

印文と布 十

素 依同女

吳 依同女

魯 依同女

素 依同女

素 依同女

素 依同女

素 依同女

素 依同女

素 依同女

素 依同女

素 依同女

如

素子

依同女

如 素

某

素子

依同女

改行

素子 依同女

如 素

素 依同女

素 依同女

素 依同女

素 依同女

素 依同女

信子下嫁中納言亮左衛門尉藤原経成

改原 年即

女 上青

高武白中儀本國二河 原左衛門尉左衛門尉

其来 女 上青

改原 女 上青

改原 女 上青

女 上青

女 上青

女 上青

高武白中儀本國二河 原左衛門尉左衛門尉

女 上青

女 上青

高武白中儀本國二河 原左衛門尉左衛門尉

實政十一乙事平青

依田守節 乃

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

末上月廿五日
安房伊藤五郎公

謹和作
六百番 ○ 坊間曼太郎

系譜

♪
二條 你

曼太郎
安房伊藤五郎
後白之三郎

源氏
後回

神名之通身之禮儀也

家之敬
智敬

丸の内之
丸の内之
丸の内之

先祖下野之親王也
其孫大常布衣信列依
其改定後右之身
上列在皇三古城
中端与今身付上
天正年中

源氏後回

源氏後回

源氏後回

宗廟之事以時致饗... 後世之君... 宗廟之事以時致饗... 後世之君...

盛紀

卷之三

母

妻

後四年八月... 山林... 後四年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...



宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

盛紀

母

妻

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

宣統元年八月... 宣統二年... 宣統元年八月...

常憲公下 御同見

同六月廿年三月廿九日任官上馬場後

大御所三子なる所也

日七廿年三月廿九日任官上馬場後

日十一廿年三月廿九日任官上馬場後

日十二廿年三月廿九日任官上馬場後

日十三廿年三月廿九日任官上馬場後

日十四廿年三月廿九日任官上馬場後

常憲公

其行後 尚令令也

年月日知加藤白屋之度也

年月日知加藤白屋之度也

其のち 号 天聖院御右近衛

常正

其のち

年月日知加藤白屋之度也

又其のち 知令令也

常正

其のち

河内守 命 近衛也

其のち 河内守 命 近衛也
其のち 河内守 命 近衛也
其のち 河内守 命 近衛也
其のち 河内守 命 近衛也
其のち 河内守 命 近衛也
其のち 河内守 命 近衛也
其のち 河内守 命 近衛也
其のち 河内守 命 近衛也
其のち 河内守 命 近衛也
其のち 河内守 命 近衛也

此書以林氏而命之曰發之乃於江
市之各處有通所之戶也
同之二年十月十日也
以之三年十月十日也
明和二年十月十日也
以之四年十月十日也
安永七年十月十日也
其書之序也

女
早世

遺書

訓子 往來書

養母

河中文四節母

養父

名作御子乃御継子

養母

名作御子乃御継子

養父

名作御子乃御継子

元文二年十月十日也
安永七年十月十日也
明和二年十月十日也
以之三年十月十日也
以之四年十月十日也
安永七年十月十日也
其書之序也

神代天皇御宇
天明六年甲午四月廿五日
日七重年二月十日
号瑞名院 觀音の義

某

早世

女

早世

如り

女

後田朝臣の孫

如り

如り

女

女

聖尹

久三郎

女

妻

室廣正乙酉年十月廿七日

天明二年甲午四月十日

如り

如り

如り

如り

如り

同九月己未年八月廿九日。藤原家幼孫等
上院より御攝入之旨
同日午時申時十時許。若菜屋。藤原家幼孫等

御書

若菜屋

御書

盛信

八十一

若菜

後田より信女

若菜

神前より信女

若菜

若菜屋より信女

若菜

若菜

若菜

若菜

若菜

右通河原屋

三三

本國信濃

洋原屋及市若菜屋等所

寛政十二年庚子月 後田久吉御書

若菜屋

下
下
下

系譜

末之月六日
近及法法手記

法法手記
或口録書。○
□

所少
近及法法手記
依田甚以帝

深衣
後曰

之孫之孫蓋六代後曰古帝為魯賜綰綰之
那後曰古帝之孫在任家名後曰古帝

家之級 九白二ノ標
禱之級 九白二ノ標
幕之級 九白二ノ標

後曰古帝為魯十九代
昌忠 石也

如 石伴

素 羽根尾之飛女
天久九ノ年午上即也
九代三ノ年午上即也

号 老漢人之香原君

治七帝 石馬如 九ノ信

守經

如 羽根尾之女

素 羽根尾之飛女

神君

永隆七ノ年午上信外弟也
成長之後隨祖天合之古帝再續訂及終人
信外之次山中古帝之弟也
又信外之次山中古帝之弟也
又相繼者之弟也
度長元ノ年

古帝之古白所傳之古帝也之古帝所傳之古帝也
其後之古白所傳之古帝也之古帝所傳之古帝也
古白所傳之古帝也之古帝所傳之古帝也

安永十八年二月八日元七午卯
舟助也海行号号是合東辰

守安

二七(魚) 長門守

母 而多氏女

素 人貴 三輪中尾女

産長十八年生信列

産長十八年十月十日信列

神 入信列

高島五郎平 福百平後

下信列五郎平 信列五郎平後

神 信列五郎平 信列五郎平後

安永十八年十月十日信列

控品院 信列五郎平後

天保元 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

信列五郎平 信列五郎平後

養母 泉母

父 梅田甚三郎相模

母 山崎氏 出雲守出雲守

妻 今久松氏之親類也

後妻 河野氏 常陸守

元海 六出奉子可也

正徳元年十月日 改日入信元重徳元元

享保元年十月日 奉子可也

享保二年十月日 奉子可也

享保三年十月日 奉子可也

享保四年十月日 奉子可也

享保五年十月日 奉子可也

享保六年十月日 奉子可也

享保七年十月日 奉子可也

享保八年十月日 奉子可也

享保九年十月日 奉子可也

享保十年十月日 奉子可也

享保十一年十月日 奉子可也

享保十二年十月日 奉子可也

享保十三年十月日 奉子可也

享保十四年十月日 奉子可也

享保十五年十月日 奉子可也

享保十六年十月日 奉子可也

享保十七年十月日 奉子可也

享保十八年十月日 奉子可也

享保十九年十月日 奉子可也

享保二十年十月日 奉子可也

享保二十一年十月日 奉子可也

享保二十二年十月日 奉子可也

曾母 字女

妻 友父字角母

後妻 友父 依政三年 昌叔公 昌女

方子 保十一年 申年 二月 廿一日

宣平 二年 申年 二月 廿一日 昌女

宣平 九年 申年 二月 廿一日 昌女 入 漢 崇 幸 子 齊

宣平 七年 申年 二月 廿一日 昌女 入 漢 崇 幸 子 齊

宣平 四年 申年 二月 廿一日 昌女 入 漢 崇 幸 子 齊

宣平 二年 申年 二月 廿一日 昌女 入 漢 崇 幸 子 齊

宣平 元年 申年 二月 廿一日 昌女 入 漢 崇 幸 子 齊

宣平 元年 申年 二月 廿一日 昌女 入 漢 崇 幸 子 齊

女 女 女

天 明 元 年 申 年 二 月 廿 一 日 昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
天 明 元 年 申 年 二 月 廿 一 日 昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
天 明 元 年 申 年 二 月 廿 一 日 昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
天 明 元 年 申 年 二 月 廿 一 日 昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
天 明 元 年 申 年 二 月 廿 一 日 昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
天 明 元 年 申 年 二 月 廿 一 日 昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
天 明 元 年 申 年 二 月 廿 一 日 昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
天 明 元 年 申 年 二 月 廿 一 日 昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
天 明 元 年 申 年 二 月 廿 一 日 昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
天 明 元 年 申 年 二 月 廿 一 日 昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊

守 忠

後 日 女 昌
昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊
昌 女 入 漢 崇 幸 子 齊

三つ目の九月... 存

女 小津... 水田...

女 山崎... 山崎...

女 山崎... 山崎...

女 山崎... 山崎...

女 山崎... 山崎...

女 山崎... 山崎...

女 山崎... 山崎...

女 山崎... 山崎...

寛政元年七月... 寛政元年七月...

高千代

上野國 郡... 中園武藏

寛政元年七月

後田長次郎



小
四條 深

系譜

未音
由教
經
何
了
心

信和
深
氏
音
在
美
源
氏
之
系

小
幸
在
此
紙
經
何
了
心

後田
友
左
兵
衛

[Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]

清和源氏

信四女

先祖信列廿日若乃佐吉馬祖海山信行

幕級 九二之豫
家級 九二之豫
誓級 訂貫

元吉

廿日 但馬守

母 正紙

神在夫甲午年信列海山乃凱一蘇田其
一自乙酉年甲午年信列海山乃凱一蘇田其
天皇乙酉年甲午年信列海山乃凱一蘇田其
乙酉年甲午年信列海山乃凱一蘇田其

吉人

御三節

母 正紙

正紙

元吉 乙酉年甲午年信列

父 正紙

夫及身神信乃佐吉馬祖海山信行
元吉乙酉年甲午年信列海山乃凱一蘇田其
乙酉年甲午年信列海山乃凱一蘇田其

吉人

母 正紙

正紙

妻 息女

慶長六年七月廿五日

父節子
年月日名姓
定家 定家 定家
定家 定家 定家
定家 定家 定家
定家 定家 定家

守重 孫子

女 息女

高平 孫子

女 孫子

女 息女

女 孫子

吉次 孫子

女 息女

慶安元年七月廿五日
近江守 孫子
近江守 孫子
近江守 孫子

女 中人之息女

女 息女

孫子

淑南

女 孫子

元禄十三年七月廿五日
近江守 孫子
近江守 孫子
近江守 孫子

天英院様へ書付候御書

古事傳に在りし事より御書知事書付候
中川御傳より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候

母

母 七月

高友

辛酉

宮 御書知事書付候御書

室 御書知事書付候御書

素 御書知事書付候御書

古事傳に在りし事より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候

古事傳に在りし事より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候

古事傳に在りし事より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候

古事傳に在りし事より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候

古事傳に在りし事より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候

古事傳に在りし事より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候

古事傳に在りし事より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候

古事傳に在りし事より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候

古事傳に在りし事より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候

古事傳に在りし事より御書知事書付候
古事傳に在りし事より御書知事書付候

或中作上初到...
 定免...
 定免...
 定免...

尚賢

...

女 祐系母

...

...

...

...

...

尚友

...

母 佐野母

...

尚久 ...

...

尚次 ...

...

右...

高...

...

寛政十三年

後田友吉御前
首

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

申す月日
御門殿の御
手紙

後田友吉
七百五拾番
御門殿

系譜

よ
五條 你

七条 你
後田友吉

源姓

後田

源氏之孫

右馬門所傳後田氏後田字名也
源氏

家之紋

九葉花紋

形之紋

二つ巴

幕之紋

三つ巴

信濃七位人後田基正門子也譽頗

守直

母

今田基正之孫高女

妻

人守直之孫高女

神若り云云

唐長入子平國と云云傳り云

大改白河傳り云云
元和八年九月十日
後田大御之孫高女

守直の孫高女
守直の孫高女

守秀

母

大井中女

妻 細川氏石川氏の女

監向人細川氏入大守高女

元永八年七月七日高女

元永九年七月七日高女

人 守直の孫高女
守直の孫高女

秀直他高女也

女 寛政二年七月十日
白子 寛政二年七月十日
茶子 寛政二年七月十日

字次

母 有子

本 有子 有子 有子

女 在 寛政二年七月十日
元 寛政二年七月十日
正 寛政二年七月十日
主 寛政二年七月十日
字 寛政二年七月十日
女 在 寛政二年七月十日

母 有子

女

在 寛政二年七月十日

字次

母 有子

本 有子 有子 有子

女 在 寛政二年七月十日
元 寛政二年七月十日
正 寛政二年七月十日
主 寛政二年七月十日
字 寛政二年七月十日
女 在 寛政二年七月十日

安永七年四月二十日 御座りし御時子

守文

久二年 安永

母 入心女

事 中入心女 田原市 田原市 田原市

正徳七年 十月 十月 十月

白河 中入心女 主母 主母 主母

享保九年 十月 十月 十月

享保十二年 十月 十月 十月

享保十五年 十月 十月 十月

享保十八年 十月 十月 十月

享保二十一年 十月 十月 十月

享保二十四年 十月 十月 十月

享保二十七年 十月 十月 十月

則虎

母 七

享保二十一年 十月 十月 十月
則虎 七

守興

七

養母 田原女

享文 養母 田原女 田原女 田原女

享保 養母 田原女 田原女 田原女

享保 養母 田原女 田原女 田原女

享保 養母 田原女 田原女 田原女

享保 養母 田原女 田原女 田原女

享保 養母 田原女 田原女 田原女

享保 養母 田原女 田原女 田原女

享保 養母 田原女 田原女 田原女

享保 養母 田原女 田原女 田原女

此の世に大いに御座りしを以て
 御座りし御座りし御座りし御座りし
 御座りし御座りし御座りし御座りし
 御座りし御座りし御座りし御座りし
 御座りし御座りし御座りし御座りし
 御座りし御座りし御座りし御座りし
 御座りし御座りし御座りし御座りし
 御座りし御座りし御座りし御座りし
 御座りし御座りし御座りし御座りし
 御座りし御座りし御座りし御座りし

女 女子 守命

女 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命

女 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命

蓮光院 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命

守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命

守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命

守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命 守命

昌慶

田原守長

母 上青

天明二年三月廿七日
昌慶 昌慶

守亮

二程定云

母 上青

天明八年三月廿七日
守亮 守亮

如

百八圓并の経

母 上青

如 如

右

如 如

高田

如 如

如 如

如 如

寛政十二年三月

信白

如 如

2
子孫 係

事行有
山公御書

先祖書

江戶御書
七右衛門守
〇流の事

中書院御書
御田守御書

信濃

新平

信濃信實

信實

大目

信實の御孫

信實

信實の御孫

信實

信實

信實

信實の御孫

信實

信實

信實

信實の御孫

信實

信實の御孫

信實

信實の御孫

信實

信實の御孫

信實

信實の御孫

信實

信實の御孫

信實

信實の御孫

信實の御孫

信濃

信實

信實

信濃

信實の御孫

信實

信實の御孫

信實

信實の御孫

信實

信實の御孫

信實

信實の御孫

信實の御孫

高野山... 信貞... 又十部...

信貞

又十部

女子

又

信貞

又十部

書... 信貞... 又十部...

信貞

又十部

信貞... 又十部...

女子

女子

女子

大月文左の御孫

母

梅屋少左の御孫

女子

大月

大月文左の御孫

母

竹村の御孫

信久

信久

信久

信久

信久

信久

信久

信久

信久

信久 女子 大月文左の御孫 梅屋少左の御孫 竹村の御孫

信次

又

年... 九月... 氏... 氏... 氏...

實女 氏... 氏...

實女 氏... 氏...

實女 氏... 氏...

實女 氏... 氏...

實女 氏... 氏...

實女 氏... 氏...

實女 氏... 氏...

實女 氏... 氏...

實女 氏... 氏...

實女 氏... 氏...

實女 氏... 氏...

實女 氏... 氏... 氏... 氏...

信義

信義

女子

女子

信義

三人

女子

女子

女子

女子

女子

明治二十三年八月二十日
 親友兼友人中野信子様宛
 申す事有らば誠に遺憾なり九月九日
 迄在り而も暫くは煩わしき事有らば
 之れは仕方のない事なり又
 申す事有らば誠に遺憾なり九月九日
 迄在り而も暫くは煩わしき事有らば
 之れは仕方のない事なり又
 申す事有らば誠に遺憾なり九月九日
 迄在り而も暫くは煩わしき事有らば
 之れは仕方のない事なり又

下へ海軍省宛

二、曾後、中野信子
 参事、中野信子
 後、中野信子
 馬

東京府海防
 後、中野信子

海防省
 後、中野信子

系信

七
 係

中野信子
 海防省
 後、中野信子

源氏

先祖大藏大臣源氏時公下孫信列地之部
付所存之地位係源氏時公孫自是信所
地者言自平武田信玄之孫自是時公孫
佐信者言自是時公孫自是時公孫

- 幕紋 三つ白燦
- 家紋 二つ白燦
- 番紋 上白燦

自直

任所 信守 号 信守

守直

任所 守直 号 守直
曾父 付所 信守 号 信守
曾母 付所 信守 号 信守

神

野原 守直 号 守直
守直 守直 号 守直
守直 守直 号 守直

神

守直 守直 号 守直
守直 守直 号 守直
守直 守直 号 守直

神

守直 守直 号 守直

守直 守直 号 守直
守直 守直 号 守直
守直 守直 号 守直

自直

任所 守直 号 守直

保

保友 保中 保右 保成

女 長子孫女

高一人者... 保友... 保中... 保右... 保成...
保友... 保中... 保右... 保成...
保友... 保中... 保右... 保成...

貞義

高女

保友... 保中... 保右... 保成...
保友... 保中... 保右... 保成...

女

保友... 保中... 保右... 保成...

女

保友... 保中... 保右... 保成...

女

保友... 保中... 保右... 保成...

新貞

保友... 保中... 保右... 保成...

保友... 保中... 保右... 保成...
保友... 保中... 保右... 保成...

孝 德天皇及後太子事

元及五中... 孝德天皇... 太子事... 孝德天皇... 太子事... 孝德天皇... 太子事...

孝

孝子 德貞天皇

孝道

孝道 中藏 田記 西名
孝女 德貞天皇
孝子 德貞天皇
孝女 德貞天皇

孝

孝 德貞天皇 田中... 孝道... 孝女... 孝子... 孝德天皇... 太子事...

孝道

孝道 德貞天皇... 孝德天皇... 太子事... 孝德天皇... 太子事... 孝德天皇... 太子事...



一
二
三

後田の記

先祖書

東行の記

後田の記
○
○

西
○
後田の記

[Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]

源姓

備田

清和天皇皇子守良子自純親王守基親王繼體親王
守成親王守光親王守平親王守基親王守平親王守基親王
守成親王守光親王守平親王守基親王守平親王守基親王
守成親王守光親王守平親王守基親王守平親王守基親王

三條白木

三條白木

三條白木

信政

改膳

女

仁平信政之女

慶長十一年一月日
源姓之新姓者之賜書後入合名

源姓之新姓者之賜書後入合名
源姓之新姓者之賜書後入合名
源姓之新姓者之賜書後入合名
源姓之新姓者之賜書後入合名
源姓之新姓者之賜書後入合名
源姓之新姓者之賜書後入合名
源姓之新姓者之賜書後入合名
源姓之新姓者之賜書後入合名
源姓之新姓者之賜書後入合名
源姓之新姓者之賜書後入合名

改武

實 天保長三年 長年

實母

仙石人稱字之陸女

素

門下女

大澤波子

元禄五十年年... 元禄五十年年... 元禄五十年年...

号安原院見左

改有

友左

母

山崎氏

素

山崎氏

少陽

元禄五十年年... 元禄五十年年...

女

川口

川口

母

中津

政次

年八月

豊

母

上

山崎氏

後書 嘉治 家藏書之月内御女

安永二酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保九酉年二月廿七日
入門中出仕以好女御所
享保三酉年二月廿七日
同享保三酉年二月廿七日
乃皇孫三月廿七日
延享三酉年九月

大前御所

享保三酉年二月廿七日
享保三酉年九月廿七日
享保三酉年九月廿七日
享保三酉年九月廿七日
享保三酉年九月廿七日
享保三酉年九月廿七日

安永三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日

信定

享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日
享保三酉年二月廿七日

女 田中 田中

主政 田中

喜保 喜保

信成 信成

信定 信定

勝成 勝成

改著 改著

改著

母 山内

天正

安永

天明

天保

文政

享和

弘化

貞和

元禄

享保

以年七月五日死年七十
葬門外 号春院院号院

女 信興 山打信興之妻
女 信興

女 信興 山打信興之妻

女 信興 山打信興之妻

女 信興 山打信興之妻

女 信興 山打信興之妻

女 信興 山打信興之妻

女 家女

祖孫

政明

女 家女

女 家女

女 家女

女 家女

女 家女

女 家女

女 家女

よ
係

三平傳

事なりし
定りしを記す

はつた
七百二十
〇

書
山崎
海田

[Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]

清和源氏
後田

清和天皇第六皇子貞純親王之男
二孫之孫基七代之孫後田二帝為美信
後田二孫在任不知死何年其子
二代目是時曰石室三代之目是時
後田と改す

但馬守二孫兄弟出世世世相承其後
肉記方寸書上りり

幕之紋
家之紋
智之紋
凡白虎金之紋
リリ
汀貫

清和天皇第六皇子貞純親王之男
二孫之孫基七代之孫後田二帝為美信
後田二孫在任不知死何年其子
二代目是時曰石室三代之目是時
後田と改す

2
5

清和源氏
後田

後田六郎為室其代
内藏御信也此也

信方

蔭八上意

隠在御入

母 蔭八上意

書 石紙

寛永十一年甲戌年正月

月御信也此也此也此也此也此也

後田六郎為室其代

内藏御信也此也此也此也此也此也

寛永十一年甲戌年正月御信也此也

信令

書 石紙

蔭八上意

隠在御入

實父

蔭八上意

人御信也此也此也此也此也此也

實母

石紙

書

寛永十一年甲戌年正月御信也此也

後田六郎為室其代

内藏御信也此也此也此也此也此也

寛永十一年甲戌年正月御信也此也

月御信也此也此也此也此也此也

後田六郎為室其代

内藏御信也此也此也此也此也此也

寛永十一年甲戌年正月御信也此也

月御信也此也此也此也此也此也

後田六郎為室其代

内藏御信也此也此也此也此也此也

あゆみ八... 元丸... 元丸...
か...
元丸...
元丸...

あゆみ八...

あゆみ八... 元丸... 元丸...
あゆみ八... 元丸... 元丸...
あゆみ八... 元丸... 元丸...
あゆみ八... 元丸... 元丸...

集

あゆみ八... 元丸... 元丸...
あゆみ八... 元丸... 元丸...

あゆみ八...

信音

あゆみ八...

あゆみ八...

あゆみ八...

あゆみ八... 元丸... 元丸...
あゆみ八... 元丸... 元丸...

あゆみ八...

あゆみ八... 元丸... 元丸...
あゆみ八... 元丸... 元丸...

信之

あゆみ八...

あゆみ八... 元丸... 元丸...
あゆみ八... 元丸... 元丸...

安永文甲申年七月廿五日
八日亥年六月廿五日
宣政文乙亥年七月廿五日
宣政文乙亥年七月廿五日
宣政文乙亥年七月廿五日
宣政文乙亥年七月廿五日
宣政文乙亥年七月廿五日
宣政文乙亥年七月廿五日
宣政文乙亥年七月廿五日

後田清太郎

母 今 氏 氏 氏 氏

後田東次郎

母 今 氏 氏 氏 氏

宣政文乙亥年七月廿五日
宣政文乙亥年七月廿五日
宣政文乙亥年七月廿五日

妙子

母 今 氏 氏 氏 氏

宣政文乙亥年七月廿五日
宣政文乙亥年七月廿五日
宣政文乙亥年七月廿五日

右 氏 氏 氏 氏

宣政文乙亥年七月廿五日

後田清太郎
宣政文乙亥年七月廿五日

Handwritten notes in cursive script, including the word "uncomfortable" and other illegible characters.

Vertical handwritten text in a box: 豊前 三田 中野 宗

Vertical handwritten text in a box: 三田 中野 宗 七百五拾番

系譜

Handwritten text in a box: 三田 宗

Vertical handwritten text: 七百五拾番 三田 中野 宗

子
二
五

Handwritten text, possibly a signature or name, written vertically.

Handwritten text in a rectangular box, possibly a name or title.

Handwritten text in a rectangular box, possibly a name or title.

源氏
後回

先祖上節字親弘... 三代大節有年... 有介... 板屋... 中絶... 立城... 於信次

拾遺錄... 江... 正... 節... 又... 後... 田... 相... 改... 中... 日

幕之紋 凡三台蝶

家之紋 口ひ

啓之紋 凡三蝶花紋

板巻之帯全一貫

全真

し編子

信濃國信之部平之職正城江上義治
九十八之病死信力以依之於長澤寺持
法石 長澤寺殿之杖全保

信盛 又信子

年月日名姓年日名姓別取澤村重信年月
り名姓子下名姓若重知地信

成昌

源藏

中田家江元毎之中平有上下新殿義
訂死

昌忠

右近助

中田家江元毎之中平有上下新殿義
之部之信之訂死信長依之於長澤寺持
法石 長澤寺殿之杖全保

盛繁

幼名古馬助

少名

母 初名

羽根尾若狭守女

妻 初名

石名身之媛 母

永祿七年子年八月日名初信長信長初生
於河内中津音身父腹初生於藏上守父
品名訂元信長信長父信長信長之成後
於河内中津音身父腹初生於藏上守父
隨信長國山田丹藏攻高直後相率領
討之者北條家之屬相率領城山田丹藏

退將進討仁藏入討元

天正十一年二月日名初信長信長初生
信長出後一帝身初名信長信長之成後
見信長初名信長信長之成後

信長初名信長信長之成後
信長初名信長信長之成後
信長初名信長信長之成後
信長初名信長信長之成後
信長初名信長信長之成後
信長初名信長信長之成後
信長初名信長信長之成後
信長初名信長信長之成後
信長初名信長信長之成後
信長初名信長信長之成後

信長初名信長信長之成後

今後之長子孫也
帝中多征伐之伯也
以陣之初起人討之
以通理也
宣和八年二月七日
手前偏房
此古制也
多矣
相繼也

宣滿

少信

母

年八月廿九日
又

豐吉

母

石岡

素

宣和八年八月廿九日
宣和九年正月廿九日
宣和九年正月廿九日

宣和八年八月廿九日

監物御方大番御前

大融寺代経河内御前御成所云云後年月日御前

右邊御成所御成所云云御成所云云御成所云云

白鳥御成所御成所云云御成所云云御成所云云

御成所

慶安二年十月廿七日御成所云云御成所云云

御成所云云御成所云云御成所云云御成所云云

盛安

御成所云云 後御成所云云

御成所云云 御成所云云

慶安二年十月廿七日御成所云云御成所云云

後御成所云云御成所云云御成所云云御成所云云

後御成所云云御成所云云御成所云云御成所云云

盛照

御成所云云 後御成所云云

御成所云云 御成所云云

御成所云云 御成所云云 御成所云云

御成所云云 御成所云云 御成所云云

御成所云云 御成所云云 御成所云云

御成所

御成所云云 御成所云云 御成所云云

天祐二年七月廿五日... 元祐元年... 所... 口... 以... 以...

成隆

知...

如

依... 人...

... 二... 二... 日... 年... 月... 日... 年... 月... 日... 年... 月... 日...

成常

成... 平... 白... 書... 如...

依... 如...

如

右...

右... 依... 如... 平... 白... 書... 如...

如子

如... 依... 如... 平... 白... 書... 如...

如... 右...

成連

如...

如

今... 依... 如... 平... 白... 書... 如...

右... 依... 如... 平... 白... 書... 如...

養正元年 法名明光院

盛清

壬午年

養正

今卯冲壬午年

寅父

初寅壬午年

寅母

初寅

壬午年正月廿五日 寅父寅母 寅父寅母 寅父寅母

寅父寅母

寅父寅母 寅父寅母 寅父寅母

寅父寅母 寅父寅母

盛常

卯年卯年

卯年卯年

寅父

寅父 寅父 寅父 寅父

寅母 寅母 寅母 寅母

寅

寅父寅母 寅父寅母 寅父寅母

寅父寅母 寅父寅母 寅父寅母

寅父寅母 寅父寅母 寅父寅母

寅父寅母

文昭云 卯年卯年 寅父寅母 寅父寅母

啓心

知在軍部

後為十部

養父 右内

養父 相言言 後田部、内成、院、小部

養母 右内 部

養母 右内 後田部、内成、院、小部

養父 右内 部

養父 右内 部

養母 右内 部

養父 右内 部

養父 右内 部

養父 右内 部

養父 右内 部

養母 右内 部

養父 右内 部

養父 右内 部

養母 右内 部

養父 右内 部

養母 右内 部

養父 右内 部

養母 右内 部

如 傳曰法法者乃威者為也

右法法者即法也法者為也
法者即法也法者為也
法者即法也法者為也

盛世

如石律命 後義三節

文句 後曰法法者乃威者為也

文句 後曰法法者乃威者為也

文句 後曰法法者乃威者為也

文句

文句 後曰法法者乃威者為也

文句 後曰法法者乃威者為也

法法者即法也法者為也
法法者即法也法者為也
法法者即法也法者為也
法法者即法也法者為也
法法者即法也法者為也

法法者即法也法者為也
法法者即法也法者為也
法法者即法也法者為也
法法者即法也法者為也
法法者即法也法者為也

女子 松平清公御事本 故法法二節中書

母 後田氏 爲 聖子 爲 女

墓置

知在 高而 又及 命又 吾仍 後 爲 善

奉 奉 而 爲 善

其父 命 爲 之 自 國 爲 死 以 及 吾 仍 爲 善

其母

本

元文 乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家

以 終 乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

義 弟 乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

何 臨 之 終 乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

乙 丑 年 丁 卯 月 乙 卯 日 卒 於 家 爲 善

二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

女子

女子

母

女子

母

女子

母

盛南

兵部

女子

母

正房

母

女子

母

正房
女子
母

正房
女子
母

正房
女子
母

正房
女子
母

正房
女子
母

女子

母 有

女子

母 有

盛長

女子 有

女子

母 有

女子

母 有

高田石 高田 本國信生 生國武藏

月以推後 所藏者

此所藏者乃高田石之類也。其石之質甚佳，且其形亦甚美。故其價亦甚昂。然其石之質，則與高田石之質，迥然不同。其石之質，則與高田石之質，迥然不同。其石之質，則與高田石之質，迥然不同。

寶篋印持身青

傳曰天作

嚴正

正

子孫 係

星月夜
希而希房

系信

信
上四家
○

大印者
係回右略

源姓

依田

幕之紋 丸之内三葉 家之紋 右之紋
替之紋 二之葉花形

長門守出次男

守相

年之節

高年節

母 入心書

延享元年正月一日生

父依田とらと母とらと

高年節

江戸元禄元年正月一日生

母 入心書
延享元年正月一日生
父依田とらと母とらと

延享元年正月一日生
父依田とらと母とらと
江戸元禄元年正月一日生
母 入心書

守相

母

入心書

延享元年正月一日生
父依田とらと母とらと

東

好子

子也

源姓

源氏

奉敘

九三之錄

家敘

九三之錄

智敘

九三之錄

利政

源氏

母書 石能

神君 皇孫公之河玉之御孫及物其後之本

源氏

利貞

素

山崎平兵衛女

源氏 皇孫公之河玉之御孫及物其後之本

利隆

源氏

母 山崎中女

奉 源氏河原女

源氏 皇孫公之河玉之御孫及物其後之本

天初之皇孫公之河玉之御孫及物其後之本

奉 源氏河原女

源氏

利茂

源氏

奉

源氏河原女

天初之皇孫公之河玉之御孫及物其後之本

自皇孫公之河玉之御孫及物其後之本

奉 源氏河原女

源氏 皇孫公之河玉之御孫及物其後之本

一様
よ
六冊
源

系譜

後醍醐天皇
 皇子
 三好信房
 三好信重
 三好信俊
 三好信興
 三好信隆
 三好信成
 三好信光
 三好信俊
 三好信興
 三好信隆
 三好信成
 三好信光

寛文
 七年
 圖書
 印
 後
 醍
 醐
 天皇
 御
 紀

高倉信俊
 文
 治
 十
 年
 乙
 未
 月
 乙
 未
 日

右
 通
 河
 内
 守
 藤
 原
 氏
 氏
 氏

利房
 母
 清
 和
 公

女
 母
 清
 和
 公

寛政
 十
 年
 乙
 未
 月

後
 醍
 醐
 天皇
 御
 紀

三好信俊
 三好信興
 三好信隆
 三好信成
 三好信光

源姓

源姓

源姓

源姓

後田

源和天皇第六皇子貞純親之四子經之
經基之流胤七代孫後田之帝為實永
仁
而中平德生信以後田之城之願手源經
源信也

幕之故

九之四三條

家之故

同

替之故

訂貫

信行嫡子

信守

三節市

肥前守

母

石部

妻

富美山藏之金澤屋女

永祿十一年十月日知生但國石部

信源様之上向書房書出款別傳由信源様信源様

是使之抄掛指物は玉御印也

上意人々御書房書出向後信源様御書

抄御指物之字は信源

信源様波延臣甲辰年 御書房御書出向後

信源様御書出向後信源様御書出向後

甲辰年信源様御書出向後信源様御書出向後

信源様御書出向後信源様御書出向後

信源様御書出向後信源様御書出向後

御書出向後

信源様御書出向後

信源様御書出向後

信源様御書出向後

信源様御書出向後

此封補り給ふ

活此乞ふ之旨

相成り可く候之

旨此等 御禮判

御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

旨此等之旨 又七條之旨 御田代前之儀

一〇〇〇〇

台通云 所著上紅布之書 乃今台之御山感控

上書云 長光之御物由是信乃可謂也

台通云 乃高信幼少時依侍在而之乃其御山瑞澤

上書云 由是後信亦居其御山瑞澤

上書云 乃高信幼少時依侍在而之乃其御山瑞澤

上書云 乃高信幼少時依侍在而之乃其御山瑞澤

廣長九甲辰年二月十日台通御前奉記

台通 御前奉記

信政

信政

信政

王母 乃高信幼少時依侍在而之乃其御山瑞澤

實父 乃高信幼少時依侍在而之乃其御山瑞澤

王母 乃高信幼少時依侍在而之乃其御山瑞澤

王母 乃高信幼少時依侍在而之乃其御山瑞澤

元龜元年正月十日台通御前奉記

一〇〇〇〇

台通云 所著上紅布之書 乃今台之御山感控

上書云 長光之御物由是信乃可謂也

台通云 乃高信幼少時依侍在而之乃其御山瑞澤

上書云 由是後信亦居其御山瑞澤

信忠

内子即

其母

仁平信忠之女

曾父

信四信忠之信忠之曾父

曾母

信四信忠之信忠之曾母

其妻

信四信忠之信忠之其妻

仁平信忠之信忠之其妻之信忠之其妻

仁平信忠

仁平信忠

仁平信忠

仁平信忠之信忠之其妻之信忠之其妻

政勝

仁平信忠之信忠之其妻之信忠之其妻

其母

仁平信忠之女

仁平信忠之信忠之其妻之信忠之其妻

仁平信忠之信忠之其妻之信忠之其妻

其妻

仁平信忠

仁平信忠之信忠之其妻之信忠之其妻

仁平信忠之信忠之其妻之信忠之其妻

信

海三郎

母 所出書以定也

妻 以和子同宮 造酒之書長後也

弟之妻 亦由是年十月 是也

人部云
卷之云
常意云

所之云 亦由是年十月 是也

其書 亦由是年十月 是也

山中之書 亦由是年十月 是也

名林之書 亦由是年十月 是也

信

同之及 亦由是年十月 是也

女子

法名香樹院 亦由是年十月 是也

海三郎

母 亦由是年十月 是也

友之書 亦由是年十月 是也

信

海三郎

母 亦由是年十月 是也

但父之書 亦由是年十月 是也

元文之書 亦由是年十月 是也

右之書 亦由是年十月 是也

子之書 亦由是年十月 是也

信憲

母 弟

母 同宮道周之出身也

妻 初名 子 同宮道周之出身也

出 延暦元年正月廿五日

常憲云
文昭云
有憲云

御三代古御帝御代末御時之御書也

一書信憲天皇御代末御時之御書也

御書也

正徳二年正月廿五日
有憲云 同宮道周之出身也

其

母 弟

延暦元年正月廿五日

其

母 弟

延暦元年正月廿五日

信憲

母 弟

妻 初名 子 同宮道周之出身也

延暦元年正月廿五日

延暦元年正月廿五日

文昭云
有憲云
有憲云

延暦元年正月廿五日

大正

仁孝皇太后御崩御
白濁之三年八月廿九日
御崩御之日
御崩御之日
御崩御之日

兼清

母 皇太后御崩御之日

皇太后御崩御之日
御崩御之日

妙子

母 皇太后御崩御之日

皇太后御崩御之日

妙子

母 皇太后御崩御之日

皇太后御崩御之日

某

母 皇太后御崩御之日

皇太后御崩御之日

某

母 皇太后御崩御之日

皇太后御崩御之日

恒信

母 皇太后御崩御之日

皇太后御崩御之日

有德云
皇太后御崩御之日
皇太后御崩御之日
皇太后御崩御之日

書後錄三本錄而三紙
 日元分年九月七日書後錄
 出後者原國防部令
 寫曆二十年他部之
 元後國事日新有
 同二十年一月
 治文
 昭和八年九月十日
 安永元王在年
 治力老院院

女子

母 子 白

書後錄二十年九月七日

女子

母

升三及原

元又元原年九月七日

女子

母

河田

元後國事日新

男子

母

子 白

元後國事日新

信廉

今午年

信廉

母

弟

弟

妻

弟

弟

弟

弟

弟

弟

弟

弟

弟

弟

女子

母

弟

女子

母

弟

弟

某

小太郎

母 大同

如承江户年二月廿日

信福

日記

母

水之濱部信女

素

抄紙

海州内信女

如承江户年二月廿日

如承江户年二月廿日

如承江户年二月廿日

如承江户年二月廿日

信

山口部信女
如承江户年二月廿日

素

抄紙

信田部信女

女子

母 素

如承江户年二月廿日

行

喜尚

如承江户年二月廿日

如承江户年二月廿日

東

海軍

右之通江原公望

三式牛若丸

武藏 本國信使
上野 生國武村

河原内浦
河原内浦

寛政之書中一月

徳田日記原

系譜

徳田氏
子三首在書 徳田氏

よ
古傳 源

新刊書
中野屋印
後田氏藏

信明

三原氏門

女 井田氏女

素 以公世絶次中多直史光惠女

彦島元子年六月廿日見

門年正月廿日物部入太皇太后御所

彦島元子年七月廿日

万原元子年七月廿日

彦島元子年七月廿日

彦島元子年七月廿日

信禮

女 上

彦島元子年七月廿日

信勝

女 上

彦島元子年七月廿日

信勝元子年七月廿日

彦島元子年七月廿日

女

彦島元子年七月廿日

中島氏女

信實

彦島元子年七月廿日

彦島元子年七月廿日

彦島元子年七月廿日

彦島元子年七月廿日

彦島元子年七月廿日

彦島元子年七月廿日

女

長子 雅之 信房之妻
其母 山内 氏

信行

自 山内 氏 氏 氏 氏

信房 山内 氏 氏 氏 氏

信房 山内 氏 氏 氏 氏

信房 山内 氏 氏 氏 氏

元禄 二年 二月 廿五日 文 陽 寺 氏

元禄 二年 二月 廿五日 文 陽 寺 氏

元禄 二年 二月 廿五日 文 陽 寺 氏

元禄 二年 二月 廿五日 文 陽 寺 氏

元禄 二年 二月 廿五日 文 陽 寺 氏

享保 二年 二月 廿五日 文 陽 寺 氏
享保 二年 二月 廿五日 文 陽 寺 氏

信長

女 山内 氏 氏 氏 氏

女 山内 氏 氏 氏 氏

女 山内 氏 氏 氏 氏

女 山内 氏 氏 氏 氏

女 山内 氏 氏 氏 氏

女 山内 氏 氏 氏 氏

女

女 山内 氏 氏 氏 氏

信長

右通 与右

叔母 兼

元文元年八月廿一日
信長 右通 与右
此書係信長公之遺書
其書中載有信長公之
生平事蹟及對家臣之
訓示等語其書之末
有信長公之署名及
年月日等語其書之
紙質極其堅韌且其
字跡極其清晰誠為
研究信長公之重要
史料也

盛明

右 与右

信長公遺書
此書係信長公之遺書
其書中載有信長公之
生平事蹟及對家臣之
訓示等語其書之末
有信長公之署名及
年月日等語其書之
紙質極其堅韌且其
字跡極其清晰誠為
研究信長公之重要
史料也

元文二年八月廿一日
信長 右通 与右
此書係信長公之遺書
其書中載有信長公之
生平事蹟及對家臣之
訓示等語其書之末
有信長公之署名及
年月日等語其書之
紙質極其堅韌且其
字跡極其清晰誠為
研究信長公之重要
史料也

信福

右 与右

信長公遺書

信福

信長公遺書

此書係信長公之遺書
其書中載有信長公之
生平事蹟及對家臣之
訓示等語其書之末
有信長公之署名及
年月日等語其書之
紙質極其堅韌且其
字跡極其清晰誠為
研究信長公之重要
史料也

天明六年十一月十五日

清田院梅少遠地川内相御之由物白取方及

天明七年九月十七日 如平定川内相御之

賜御中政

川内相御之由物白取方及

乃如後受物之取方及

天明七年九月十七日 如平定川内相御之

天明七年九月十七日 如平定川内相御之

天明七年九月十七日 如平定川内相御之

天明七年九月十七日 如平定川内相御之

某

三三三

大

某

三三三

如 他服中女

長房

男 出所

天明七年九月十七日

如 他服中女

天明七年九月十七日 如平定川内相御之

信音

中 出所

天明七年九月十七日 如平定川内相御之

天明七年九月十七日 如平定川内相御之

小

天明七年九月十七日 如平定川内相御之

花

善長 河原入之儀院権掌

安政 海人 葉田屋久兵衛 安政 海人

女 依田氏女

女 依田氏女

右 通江所出

三 善長 河原入之儀院権掌

安政 海人 葉田屋久兵衛

安政 海人 葉田屋久兵衛

三

